

# 社内技術発表会 約150人聴講

田中

さく井工事などを手掛ける日さく(さいたま市、若林直樹社長)は、2024年度社内技術発表会をオンライン形式で開いた。写真。全国各事業所・部門の若手社員を中心に12人が発表した。全役員・従業員の半数に当たる約150人が聴講した。

4回目のオンライン開催となる今回は、事前に予稿集をポータルサイトに掲載し、質問をまとめておくことで、発表者があらかじめ回答を準備でき、質問者の偏りもなくすなど、発表内容を周知し、その成果を共有するための工夫を凝らした。最優秀賞と優秀賞は聴講者によるアンケートをもとに決定した。



若林社長は「発表者は、アウトプットする手法を学びつつあり、成長していることを

感じた。今後は、聞き手が発言内容や方法を各自の業務に取り込むという視点から対応してもらえれば、より成果が得られる。社内発表の経験を踏まえ、各自が取り組んでいる技術や業務が、地域や社会に貢献することを絶えず意識し、多くの人々に喜ばれ、満足していただくことを目指してほしい」とコメント

した。

最優秀賞と優秀賞のテーマは次のとおり(敬称略)。  
〈最優秀賞〉上越支店・沼澤輝久「令和6年能登半島地震における上越地域の地すべり観測事例」。  
〈優秀賞〉仙台支店・後藤匠「工事現場における水中ドローンの活用」▽総務部・内藤朱音「総務課1年目の業務と取り組み」。

